

Avatar Mk-2



Avalon Avatar Mk-2

アヴァター・マーク2

オーディオに関する製品開発・技術進歩はこの10年で目を見張るものがありました。

DVD-A, SACDの発表、アンプにおいてもよりスピードと制動能力を重視したパワーICや効率的なスイッチングレギュレーターの開発などの例をみるまでもなく、より楽しい音楽再生に向けて確実に進歩しています。伝統的なスピーカーにおいても進歩しなくてよいわけはありません。よりすぐれたサウンドステージ、ダイナミックシェーディングを目指し、圧倒的な臨場感、聴き手がそこにいる、というイリュージョンを求めてたえず進化しているのです。

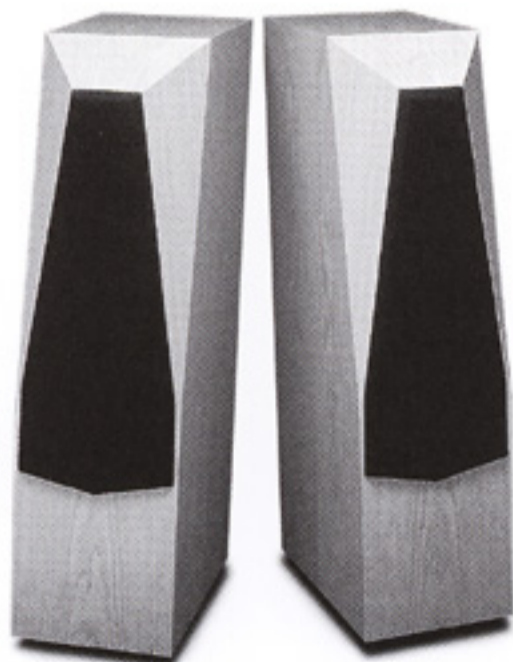
アヴァロン・アヴァターも例外ではありません。デビュー作からそのサウンドステージの再現性、スピード感のあるベースなど、伝統的スピーカーとは一線を画す優れた能力で、聴き手を魅了した長所に加え、さらにより現実に近い表現を備えるべく改良が加えられてきました。新世紀を迎えるにふさわしい新たなサウンドで音楽を理解し、より深い楽しみへと私たちを導きます。

今では多くのメーカーが採用している独特なエンクロージャのフォルムもアヴァロンが先駆者です。1986年にアセントによって完成させたバップル効果の少ない、従ってサウンドステージ表現に飛び抜けた能力を発揮するエンクロージャフォルム。バップル面は7層黄金比厚MDF、共振を押さえ、送られてきた信号のスピード(ライズタイム、セトルタイム)をそのまま忠実に守る理想的バップル。初期の命題であるサウンドステージと躍動感ある音楽表現はこのエンクロージャなくしてはあり得ません。Q=0.5という独自の低域共振峰の設定にもその秘密がありました。

心ゆくまで演奏会の原風景を求め、左右のドライバーユニットの特性とマッチングとを追い求めた結果、ホールトーンまでもも克明に描写することができました。クロスオーバーについても、経年変化の極端に少ないケーブルを使用し、アヴァロン独自の三次元コンピューター解析によって独特の方法でネットワークを再構築しました。そして、振動制御のためにエポキシで固め、新たに設計した底部のチェンバーに収納させました。このネットワークによってオリジナルアヴァターがさらに飛躍的に再現能力を高め、「私が演奏家の前に座っている」領域にまで達したのです。エンクロージャ仕上げはアヴァロンの独壇場ともいえるトラディショナルファニチャー技術をそのまま応用した非常に美しいもの。使用する木材の選択から始まり、気の遠くなるような行程を経て完成するのです。このエンクロージャは底面を除いて8つの面から成っています。多重層MDFで強度を増したボディーに、木材微粒子パウダーで形成した非常に硬度の高い板を貼り、ダンピング効果を持たせます。このように下地を加工してからようやくその上に美しい厚手の木目を貼ります。これらの行程だけでも伝統工芸品の部類に入るほど。各材料は6000kgプレス機によってしっかりとキャビネットと一体化されます。

アヴァターの魅力はなんといっても、肩肘張らない素直な音楽再現性にあります。きわめてナチュラルに音楽全体のパフォーマンスを描き出し、聴き手にその情景を提供します。なによりもそれが私たち音楽愛好家の求めるものなのですから、アヴァターはそのエッセンスを凝縮して届けてくれるわけです。

末永く深く音楽を楽しみ理解したい、そのような方々にアメリカの優れたレコード演奏家、アヴァロン社ニールバテルは、アヴァターという工芸品で応えます。目を閉じて全身六感で音楽を吸収してみてください。アヴァターのお届けする音楽演奏の情景は、それがオーケストラであれ、ハードロックであれ、また天上の音のようなソプラノであれ、響き渡るテノールであれ、聴き手の前に裏として現れてくるのです。



Specifications

- ドライバーユニット…2.5cmチタンドームトウイーター / 20.3cmノメックス・ケブラー混合3重コーンウーファー ●能率…86dB(2.83V,1m)
- インピーダンス…6ohms(+/-1ohm,100Hz~20kHz) ●周波数帯域…35Hz~24kHz(通常条件) ●システム共振…Q=0.5 at 45Hz ●推奨アンプ出力…30~300watts
- サイズ…229(W)×864(H)×330(D)mm / 27kgs ●仕様…ホワイトアッシュ / ウォルナット / アメリカンチェリー

OHBA Corporation

大場商事株式会社 107-0062東京都港区南青山3-1-3 公03-3479-5181 宅3479-5339

<http://www.ohbashoji.co.jp/>